

事務事業名		さかなグルメのまち地域振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業			
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成28 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	04
根拠法令						事務事業区分			
所属	部課名	商工港湾部観光推進室				A 政策事業 B 施設整備			
	課長名	千葉 譲				C 施設管理 D 補助金等			
	係名	—		電話	27-3111		E 一般(A～D以外)		
	担当者	佐々木 智紘		内線	115				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
「さかなグルメのまち大船渡」の活動は、平成28年から、民間メンバーを中心に、官民一体となり、本格的に取り組を進めている。第一弾として、市民に親しみのある「さんま」をテーマに絞り、「さんまと言えば大船渡」と言われる状態を目指す活動を実施。当該実行委員会の各種活動は、市民により構成される「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」が中心となり実施しており、当室では事務局を担っている。 水産のまち大船渡の経済復興協議会の「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」が実施する「さかなグルメ」普及イベント開催事業に対し、事業費の一部を負担している。 事業費は、イベント経費や大漁旗コンテスト等の運営経費となっている。				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0					
				総投入量(千円) 事業費 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標			
① 手段(主な活動)			
前年度実績(前年度に行った主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
・「さかなグルメのまち大船渡」の実現にむけた、「さんまグルメ」フェア(市内の飲食店等がさんま料理を提供する)の開催、一流料理人によるプレミアム料理フルコース及びシェフズアライアンスツアーの開催、PRキャラクター「秋刀魚武士」の作成。 ・さんま直送便レター及び大漁旗コンテストの実施 ・さんま船出船式及びさんま一番船入港式の実施 ・三陸・大船渡東京タワーさんままつりの開催 など			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市内飲食店への「さんまのまち大船渡」の機運の醸成 ・大船渡市内飲食店での「さんまグルメフェア」の実施 ・PRキャラクター「秋刀魚武士」を活用した実行委員会活動のPR ・さんま直送便レター及び大漁旗コンテストの実施			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
直接対象 水産のまち大船渡の経済復興協議会 間接対象 市民及び観光客(潜在的な観光客数)			
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	単位
・実行委員会の効果的かつ円滑な運営をしてもらう。 ・より多くの市民に関わってもらい、さんまへの想いを醸成する。 ・さんまにより面白い活動をするまち、「さんまと言えば大船渡」の周知			事業実施数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	単位
・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。		さかなグルメ普及イベント参加店舗数	店
		観光入込客数(年実績)	千人

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		3,862	3,782			
		一般財源	千円		1,932	1,893	2,523	2,450	1,975
	事業費計(A)		千円	0	5,794	5,675	2,523	2,450	1,975
	人件費	正規職員従事人数	人		4	1	6	6	5
		延べ業務時間	時間		5,400	1,800	1,800	2,000	2,000
		人件費計(B)	千円	0	21,600	7,200	7,200	8,000	8,000
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	27,394	12,875	9,723	10,450
⑤活動指標		ア	事業		9	14	13	12	13
⑥対象指標		カ	店				24	21	21
		キ	千人		126,933	126,706	126,443	126,167	127,000
⑦成果指標		サ	人				24	21	21
		シ	千人		730	707	696	789	707
		ス							

事務事業ID	1713	事務事業名	さかなグルメのまち地域振興事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成28年度から事業開始。官民が協力し、市民の誇り醸成に繋がると考え、魚食を通じたさかなグルメによる地域振興を実施することとして始められた。現在は、第一弾として「さんま」をテーマにした活動を展開。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成28年度からの活動であるが、初年度の活動としては、市民を中心に、「さんまと言えば大船渡」の機運の醸成の基礎を構築。十分に周知されていないことから、継続して事業を行なう。また、昨年度、グルメ関連事業が実施できておらず、グルメ開発などに力を入れる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	WS等を通じて、ともにまちづくりをしたいと、参画希望者も現れている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	地域資源の「さんま」により、積極的なイベント展開、グルメによるまちづくりを進めることで、交流人口の増大を図られることから、市の政策に直結するものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	本事業は、官民が合同となり、進めている事業であり、特定の事業所の利益に繋がるようなものではなく、「さんまと言えば大船渡」としての市全体のイメージアップやPR、まちづくりのために行なわれていることから、税金を投入して達成を目指すことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	事業開始から4年目であり、際立った成果には繋がっていないが、現時点では、成果に結びつけるための最良の手法であり対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	各種取り組みがなされある程度の成果があったが、「さかなグルメ」のまちと言いつつも、グルメに関する取り組みが十分になされなかった。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事業を廃止した場合、密接になりつつあった、行政と民間の連携体制が切り離されるとともに、信頼関係が崩れ、まちおこしや観光振興にも影響を及ぼすことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費の削減が成果の低下に直結する。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	臨時職員等を採用することができれば、当該業務の事務補助を担ってもらうこととなり、正職員の業務は軽減する見込み。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	特定の業種・業者の利益にならないような、幅広い委員の構成にするとともに、希望者の参入が可能な体制としている。事業内容に関しても、特定の業社の利益ではなく、まち全体のイメージアップ、まちおこしを目的としている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		
・民間主導の体制づくりを試みるも、事務を執れる方がおらず、結果的に事務局の負担増となったことから、事務局体制の強化が必要。 ・まちづくりに係る基礎データ不足のため、成果指標の設定が難しい。 ・まちづくりのインシアティブをとる人材不足。 ・外部アドバイザーより、官のリーダーシップの欠如の指摘有り。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	・当市観光の大きなウエイトを占める魚介類について、民間が前面に立って、その魅力の向上と情報発信に取り組み、地域経済の活性化や官民連携によるまちづくりに貢献している。 ・今後事業の進め方等について議論を深め更なる事業の推進につなげていく。